

発 言 通 告 書

発言者氏名	本石篤志
発言の会議	令和7年 9月 1日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 経済と福祉の両輪で進めてこられた市長の市政運営におけるこれまでの成果について

- (1) 現在の本市におけるファミリー層の人口増加は、これまで本市が進めてきた様々な子育て支援や福祉施策が実を結んだものと考えるが、市長御自身の経済と福祉の両輪で進めてこられた市政運営における、これまでの成果に関する所見について

2 孤独・孤立に関する知識を身につけ、日常生活の中で困っている人を支援機関につなげるボランティア「つながりサポーター」の養成について

- (1) あらゆる年代において誰もが孤独・孤立状態に陥りやすい現状に関する市長の所見について
- (2) 社会全体の孤独・孤立化が進む中、本市において「つながりサポーター」を養成することに関する市長の所見について

3 外国人児童・生徒に対応した音声教材「マルチメディアダイジー教科書」の活用の推進について

- (1) 本市における日本語指導が必要な外国籍あるいは外国につながるのある児童・生徒への「マルチメディアダイジー教科書」の提供による効果に関する教育長の評価について
- (2) 日本語指導が必要な外国籍あるいは外国につながるのある児童・生徒に関わる各市立学校の教職員に「マルチメディアダイジー教科書」を活用できるという情報が漏れなく伝わるよう、紙面による情報提供に加え、年度替わりの時期にさらなる周知の工夫をすることに関する教育長の所見について

4 G I G Aスクール構想下における学校間及び教職員間の I C T利活用授業に関する格差是正について

- (1) 文部科学省が公表した「G I G Aスクール構想の現状について」にある「学校長の課題認識」に関する本市における状況への教育長の見解について
- (2) G I G Aスクール端末を配備し運用を開始して5年が経過した後の端末リプレイス時を一つの区切りと捉え、G I G Aスクール構想下における学校間及び教職員間の I C T利活用授業に関する格差是正へのさらなる取組に関する教育長の所見について